



第347号 平成19年6月1日

発行所 京都市学校医会

京都市中京区間之町通竹屋町下ル

楠町601-1 こどもみらい館 2階

TEL (075) 256-0351

FAX (075) 241-3568

発行人 長村吉朗

## 第58回 指定都市学校保健協議会に参加して

会長 長村吉朗

5月13日北九州市において、第58回指定都市学校保健協議会が北九州市学校保健会及び北九州市教育委員会の主催により北九州国際会議場で開催され、学校医会より私と奥村・平井両副会長、林専務理事の4名と星谷耳鼻科医会理の合計5名が京都より参加いたしました。私は全体協議及び記念講演と2分科会「保健管理」の概要につき報告をいたします。その他の分科会の内容につきましては他の記事をお読みください。

協議会に先立つ12日には北九州医師会主催の学校医懇談会が開催され、各科研修会の内科系研修会では教職員健診の問題が討議されました。教職員健診における学校医と産業医の関係が現状をふまえ討議されたのですが、大阪市では昨年より全校に産業医が配置され、学校医が産業医の資格を持たない場合、医師会より産業医を別に派遣するようにしていることが報告され、その報酬の捻出と位置づけの困難さが報告されていましたが、京都市でそれを行うには少し問題があるのではないかと考えられました。それに続く懇談会では西島英利参議院議員による「子供の心の問題」の講演で、西島先生は地元小倉蒲生病院理事長であり、私と同じ52年卒業で現在も忙しい中で外来を持つ医師であることを初めて知りました。しかしながら講演の内容はごく一般的な心理学の講義のようでした。

13日に開催されました協議会は、一昨年までの十四大都市学校保健協議会から改名され指定都市学校保健協議会となったもので、今回は浜松市の加入が承認され、これにより今後は札幌、仙台、さいたま、

千葉、川崎、横浜、静岡、浜松、名古屋、京都、大阪、堺、神戸、広島、北九州、福岡の16政令指定都市が加盟都市となります。来年度の開催都市は広島市で5月11日と決定されました。その後は千葉、大阪、京都市の順で開催される予定となっております。

記念講演は音楽家 渡辺知子氏による「生命が光る—音楽で心のバリアフリー—」で講演と言うよりは公演と言った方が良い内容の、2時間にも及ぶ障害のある人たちとの演奏会でした。しかし、昨年のも東京交響楽団のメンバーによる弦楽四重奏の音よりも、心に響いたと感じたのは僕だけではなかったと思います。

第2分科会の口頭提言では横浜市立瀬ヶ崎小学校 学校医 玉虫昇「耳鼻咽喉科健診とプライバシーについて」では、パーティションを利用し児童の視線を遮蔽し、さらに診断名の記号化により検診結果が他の児童にわからないようにする試みが、それに要する時間のこれまでとの比較をあげ示されましたが、いずれもプライバシーの保護にこれまでより配慮し出していることが感じられました。京都市立深草小学校 養護教諭 近藤恭子「保健管理は情報の収集から共有へ—「ほう・れん・そう」に思いをのせて—」では、健康に関する情報の養護と教職員との共有の重要性が示されました。堺市立東深井小学校 学校歯科医 富田康則「“心のみがく” 歯科保健指導—健やかな子どもの成長を学校・家庭・地域とともに支える学校歯科医の取り組み—」では、長年にわたる学校歯科医による家庭・地域への歯磨き指導の取り組みが紹介されました。北九州市立北小

倉小学校 養護教諭 安倍千早「パワーアップ北小倉っ子 ー食う・寝る・遊ぶの再点検で自己管理能力の育成ー」では、ピーターバルソン小児抑うつスクリーニングテストの導入により子供の心の変化を早い内に見つける事の重要性が紹介されました。紙上提言では仙台市立田子中学校養護教諭、高橋憲子「望ましい食生活習慣を育むための保健指導の推進ー食行動の意識調査と分析からー」。さいたま市立大宮別所小学校養護教諭、谷口佳子「心身の健康の保持増進のための保健管理の推進ー化学物質過敏症児の事例よりー」。川崎市立西丸子小学校 学校歯科医、佐藤哲郎「基本的生活習慣の確立と自らの健康観を向上させる歯科保健活動ー児童・保護者のアン

ケート調査からー」。広島市立吉島中学校養護教諭、山崎やよい「子どもたちの心と体の調和のとれた成長を促す保健管理ー保健室経営の視点からー」の4題が提示されましたが、このうち3名は会場におられたためその内容が質問の時間に短く報告されました。最後に西南女学院大学講師、吉田あや子氏による助言が行われましたが、発表に対する要約とほめ言葉のみに時間をあだけ割くのであれば、紙上提言でなく発表させることは出来ないのかと思われました。3年後にやってくる京都市での本協議会開催への課題と考えます。

なお、これらの資料は学校医会事務局に御座いますので必要な先生方は遠慮なくご連絡下さい。

## 第58回 指定都市学校保健協議会第1分科会「健康教育」に参加して

専務理事 林 鐘 声

5月13日、北九州国際会議場で行われました。口頭提言は担任教諭、養護教諭、学校歯科医、保健主事教諭による4題でした。

- (1) 食指導で健康づくりに取り組む子どもの育成を図る

札幌市立美しが丘緑小学校教諭 堀江 仁

- (2) 学校・家庭・地域が協力して取り組む健康な体づくり ー歯と口の健康づくりに進んで取り組む児童の育成を通してー

仙台市立根白石小学校養護教諭 佐藤 和江

- (3) 学校歯科医による学校歯科保健教育への新たな展開

大阪市立平林小学校学校歯科医 長崎 三男

- (4) 生涯にわたって自ら健康づくりに取り組む子どもを育む健康教育のあり方

ー生活習慣の改善に向けた学校保健委員会の取り組みー

広島市立鈴張小学校教諭 古谷 修一

(1)：食育に関連するもので「からだをつくるたべもの」「からだをうごかすたべもの」「からだのちょうしをよくするたべもの」を中心として、栄養教諭と担任との連携による食指導の取り組みの報告。

(2)：給食後の歯みがき活動を実践してきた小学校からの、その成果についての報告。

(3)：学校現場で行う「歯の講話」の題材として、むし歯予防・咀嚼・食生活をとり上げ作成したCD-Rを他都市へも提供し、幅広い活用を望むとする提言。

(4)：早寝・早起き、朝食・排便などの生活習慣に注目して、生活リズムの確立を促す活動についての報告。

インスタントな健康教育はないとはいえ、地道で地味な活動については、学校教育者同士では通じる機微も多らしく、周りではしきりにメモをとったり、頷いたりしていましたが、具体的な経験をもたない私には伝わりにくい所がありました。

学力をつけること、体力をつけることは学校教育の中で、とくに重視されてきたことですが、健康力（自らが食事・運動・休養を考えて生涯に亘って健康でたくましく、心豊かに生きる力）をつけるということは、今まであまり強調されることは少なかったと思います。

しかし、これからの重要な課題になるようです。今回の提言をきいていても、基盤となるべき共通した知識や知恵が失われたり、生かされなくなった世

の中となってきたことが窺えました。健康とはと大上段に構えることは私の柄ではなく、手にも余ることですが、子どもを診る立場としては、病気の

予防という管見からでも、健康についての見識を深めていくことが求められていると感じました。

## 第58回 指定都市学校保健協議会第3分科会「心の健康」に参加して

副会長 平 位 喜七郎

今回の学校保健協議会で大変印象に残ったのは、記念講演でした。

講師は音楽家の渡辺和子さんで、「生命が光る～音楽で心のバリアフリーを」の演題で講演されましたが、講演というより難病を乗り越えられたご自身の体験発表と障害を持つ人たちとのコンサートの実演でした。渡辺さん自身、全身の紫斑病を祖母の死をきっかけに奇跡的に克服され、その後も33才でも膜下出血にみまわれ、半身不随のリハビリ中同じ入院中の老人に「あなたはどんな希望を持っているのか」とのきびしい指摘に奮起され、再びピアノを演奏できる社会復帰をはたされたこと、そしてサリドマイド奇型で両手のない婦人やダウン症の青年たちをも楽団に呼びこみ、すばらしい音楽活動をされていて、その実演をきかせて頂いたことでした。これは、第3分科会の課題「どんな障害の子もこうして社会復帰できる」との見事な回答でした。京都にも是非渡辺さんを一度招聘したい思いです。第3分科会での協議の主題は「自他の生命を尊重する豊かな心を育むための支援とその方策」で社会や生活環境の変容が子どもの心に及ぼす問題を把握し主体的に対応できる豊かな心を育むための手だてについて協議されました。

分科会では口頭提言4題、紙上提言4題で口頭提言のテーマは

1. 「生きる力」をはぐくむ「潤いのある教育」の実現を目指して
2. 「心」と「からだ」を一体としてとらえ、一人ひとりの発達段階に応じた学習指導を探るために
3. いじめ早期発見と対応について
4. 地域と行なう心の支援のありかた

この4題はほとんどが学校現場でどう教師と子ども

もが共に協調して豊かな心を育むかというテーマが中心で、4題目が学校医の出番と地域との協力をとりあげたことでした。

紙上提言の一つに「事例検討を通した学校精神保健への実践的取り組み」があり巡回事例検討会を通し精神科医の学校保健への関わりの必要性がとりあげられました。

.....

### 南支部会を開催して

南支部長 清 水 忠 雄

5月26日リーガロイヤルホテルの皇家龍鳳にて南支部会を開催しました。今回は長村吉朗会長は所用にて欠席され平位喜七郎副会長に出席頂きました。出席者は陶化小の小山秀樹、久世中の山本昭郎、祥豊小の宇都宮久清、陶化中の羽柴忠利、九条塔南小の山下琢（順不同、敬称略）の各氏、九条弘道小の清水忠雄の7名。早速、平位副会長から9月22日に行われる京都市学校医会100周年事業についての説明と出来るだけ多くの方の記念誌への投稿の依頼や、学校医として重要視すべき問題が昔の結核からこころの問題へと大きく変化し、また昨年島根県で開催された学校医の全国大会でもこころの問題に積極的にかかわっていくことが推奨され、学校医会の精神衛生研究会で昨年10月より「こころのワンポイント相談」を開始されたことが報告されました。その後乾杯、食事となり和やかに会は進行、特に学校でのいじめや不登校の問題などが話題となり、山下氏からは学級崩壊を目の当たりにしたことも報告され、平位副会長からはそのままこころは精神衛生研究会のようだとの感想までいただきました。そして今日の出席者にはぜひこころのワンポイント相談医になっ

ていただきたいとの要望もありました。また100周年記念誌の件では戦後すぐから昭和25年位までの学

校医会の記録が殆どなく資料をお持ちの方はぜひご提出いただきたいとのことでした。

## 第4分科会 地域保健

### “学校・家庭・地域が一体となって、こどもの望ましい生活習慣を育む保健活動の充実”

福西小 奥村正治

午後部の課題別協議の第4分科会の報告です。どの分科会も、口頭提言と紙上提言とに別かれ、それぞれ4演題ずつの計8題です。口頭発表は、「食」の話題が2題、地域の方々を交じての健康に関する発信が2題と第4分科会の地域を意識した演題である。

- 1) 豊かな心と健康な体を育む食習慣の形成
  - 2) 食育の推進
  - 3) 生徒保健委員会から地域に向けた健康発信
  - 4) 養護教諭としての支援のあり方ー校内支援・校外支援ー
- の4題である。

1)からは、地域の人達の協力を得ながら、食物を育てる事から始まるが、単に学校で育てるのではなく、地域の作物を作っておられる専門家より指導を受けながら、食物を育てるという一段つこんだ「育て」があった。地域の特性と思われるが、千葉市の中でも田畑が多い、森林が多い地域であるという点が、よい「育て」につながったと思う。京都市においては、田畑が少ない地域が多いだろうから、同じ様な試みは、少し無理がある。自然の多い地域の特性と感じた。

学校で食生活（調理も含み）の知識と実践力を子供達が身につけ、家族と共に家庭内では食事のマナー等を実践する事により、より良い社会性を育てるという手順である。

結果的には家族がそろって食事をする57.7%が66.7%に増加したとの事、子供達の食に関する積極性が良い面に出た様である。

2)は、名古屋市学校保健会の会長さんの発題であったが、最近話題になっている、小中学校の児童・生徒のメタボリック症候群と云うか、メタボリック予備軍を減らす事にある。どこの地域もそうであろう、朝食の摂取の不足、又、朝の排便の有無、等が、朝の早起き群と遅起き群とでは、皆さんの予想どおりです。当然早起き群が、結果が良い、又、「トワイライトスクールの参画」と云う事で、放課後、土曜日の午前9時からどちらも午後6時までの時間帯を指導者（約6割が校長経験者）と地域の協力の方々と共に、スポーツや、文化活動を含む部活動である。

この活動中は、自分のもって来た水筒のお茶のみで、おやつの際は一切禁止と…。肥満児にとっては大変有効なシステムとの発表であった。夕食までの時間帯の間食の大小が、特に小学生の肥満と関係している、と。

3) 4)は共に地域への発信の話題であるが、特に3)は、中学校からの発信の為、生徒の地域での発表である為、これらを聞き入る地域の人々の耳も専門家より入って来る話題とは又異なる「新鮮さ」と「生の声」が大人の興味・関心を引いた様である。

簡単に話題のつまみ食いをいただきましたが、抄録は学校医会事務局に保管しております。興味のある方はご一読下さい。

## 平成19年度 京都市学校保健会事業計画（案）

19. 5. 25現在

年月日	曜日	事業内容		会場又は 開催地
		京都市学校保健会	その他	
19. 5.18	日		第58回指定都市学校保健協議会	北九州市
5.29	火	第1回常務委員会		総合教育C
6.12	火	理事会・評議員会		総合教育C
7.12	木		第29回近畿学校保健連絡協議会	神戸市
9.25	火	第2回常務委員会		総合教育C
10.30	火	京都市学校保健会表彰式・研修会		総合教育C
11. 8 ～9	木 金		第57回全国学校保健研究大会	香川県 高松市
12. 1	土	第43回京都市学校保健研究発表会		総合教育C
12. 1	土	表彰祝賀会・懇親会		ロイヤルH
20. 2.26	火	第41回京都市学校保健協議大会		総合教育C
2.			学校保健センター事業報告会	東京都

### その他の事業・会議等

- (1) 会誌104・105・106号及び集録の刊行
- (2) 会議……常務委員会、企画・広報・研究・表彰委員会、支部長会
- (3) 連絡会……支部連絡会、研究実践助成校連絡会

## 100周年記念式典の概要決定さる

会長 長村吉朗

5月号の巻頭言に決定次第報告すると記載いたしました、100周年記念式典・祝賀会の予定が決定いたしましたので報告いたします。参加のご案内は後日送付させていただきますが、9月22日の予定は100周年記念式典のためにお空けいただきたくお願い申し上げます。

100周年記念式典・祝賀会の開催日時は9月22日（土）の午後2時30分からで、会場は「京都ホテルオークラ」です。式典の後、午後4時から京都市少年合唱団の公演に続き、元チェコ大使 宮本信夫様による講演「政治と歴史で巡る世界の旅」、それに続きまして音楽家 神崎愛様によるフルート演奏「フルートと歌で巡る世界の旅」を楽しんでいただきます。その後、午後6時よりは祝賀会を予定しております。出来る限り多くの皆様方のご参加をお待ち申し上げます。

## 第2回 常任理事会

平成19年6月9日  
於 事務局

出席者 長村会長、奥村、平位副会長、林専務理事、  
井上・藤田・竹内・青木・蘆原・福持各常  
任理事、星谷耳鼻咽喉科理事

### ・会長挨拶

### <報告事項>

1. 精神衛生研究会 5/10 (平位)  
8名の参加
2. 指定都市学校保健会協議会 5/12~13 (長村)  
今月号参照
3. 創立100周年記念事業委員会 5/18 (長村)  
記念碑のレプリカの展示
4. 心臓相談 5/23 (林)  
2名(小2の女兒、小6の女兒ともにPVC E  
可の指導)
5. ワンポイント相談 5/24 (平位)  
2名のLDについて(夜に今までの10例の検討  
会実施)
6. 南支部会  
今月号参照
7. 人づくり21世紀委員会 5/30 (平位)
8. 腎臓相談 6/5 (藤田)  
中学生2名
9. その他  
第1回京都市学校地域保健連携推進検討会  
6/8 (奥村)

### <協議事項>

1. 校園長部会との懇談会について
2. 養護研究部会との懇談会について
3. 平成19年度京都市小学生記録会について  
出務医師の決定
4. 結核健康診断のツベルクリン反応検査について  
出務医師の決定

5. 麻疹の流行について  
京都市立学校では5名の報告
6. その他

### <関連学会・各種協議>

1. 市教委との懇談会 6/9
2. 第24回京都府歯科保健文化賞表彰式 6/10  
会長出席
3. 学校保健会理事会評議員会 6/12
4. 精神衛生研究会 6/14
5. 創立100周年事業委員会 6/15
6. 三師会 6/16  
薬剤師会主催 於 京都ウェスティン都ホテル
7. 心臓相談 6/20
8. 子どもの心とからだ講演会 6/23  
於 本能寺会館
9. 近畿学校保健学会 6/23
10. 腎臓相談 6/26、7/3
11. ワンポイント相談 6/28
12. 校園長部会との懇談会 7/7  
於 木乃婦
13. 第3回常任理事会 7/7 (2:00 pm~)

